



浅野市長 所信表明

地域で学び・育ち・暮らす

子どもたちが、住み慣れたまちで安心して学び・育ち・暮らしていくことができる環境を整備するため、昨年 4 月に、知的障がい・肢体不自由・病弱のある児童生徒を対象とする小中高一貫の「かかみがはら支援学校」を開校いたしました。

また、児童生徒数が減少する中、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、令和 7 年度から 8 年度にかけて「学校適正規模・適正配置等に関する基本計画の見直し」と、「具体的な学校の再編や建替に関する実施計画案の作成」を進めています。子どもたちが一定の規模の学校で多様な考えに触れながら切磋琢磨できる、学びの実現に向けて、地域の皆さまと共に各務原市らしい学校のあり方を検討してまいります。

安全・安心なまちづくり

市ではこれまで、さまざまな取組を通じて災害に強いまちづくりを進めてまいりました。災害は「来るかもしれない」ではなく「必ず来る」という認識のもと、全職員が一丸となって市民の皆さまの「暮らしを守る」、安全・安心なまちづくりを強化してまいります。

また、市民の皆さまに安全・安心な水道水を安定的に供給し続けていくため、現在中期対策として、水道事業では全国初となるイオン交換樹脂を用いた PFAS 除去施設の整備を三井水源地で進めています。令和 8 年度中に工事を完了し、運用を開始する計画です。あわせて長期対策として、市内全体の水道水の供給体制の最適化を検討してまいります。

便利で豊かなまちづくり

市民の皆さまの暮らしをより便利で豊かにするため、本市では DX の推進にも積極的に取り

組んでいます。自治会活動をサポートするアプリの本格運用により役員の負担軽減を図るとともに、本年 2 月より母子健康手帳アプリを導入し、子育て世帯の不安や負担を軽減し利便性向上を図っています。今後も、市民の皆さまの暮らしに寄り添った DX を推進してまいります。

将来を見据えた事業の推進

新総合体育館総合運動防災公園整備運営事業については、昨年 10 月に施設の設計・工事・維持管理・運営などを一括して行う事業者と PFI 手法により事業契約を締結いたしました。

本事業では、公園内に芝生広場や大型遊具などを整備するほか、メインアリーナは各種競技の正規のコート寸法を確保し、プロスポーツ興行や文化イベントの開催も可能となります。また、災害時には自衛隊など応援部隊の活動拠点や避難場所、物資拠点としての機能を果たします。スポーツや賑わいの拠点として、そして、いざという時には市民の皆さまの安全・安心を支える本事業を着実に前進させてまいります。

共にまちを創る

人口減少・少子高齢化時代を生き抜くためには、市民の皆さま・自治会・各種団体・企業、行政が力を合わせ、互いの強みを最大限に発揮し、共にまちを創る、共創によるまちづくりが重要です。市民の皆さまがしあわせを実感できるまちの実現に向け、これからもゆるぎない情熱をもって、「オール各務原」で市政運営に邁進してまいります。

一部のみ掲載。全文は市ウェブサイトに掲載しています。

